

PC市場侵食で急発進

コストは4分の1、しかも情報漏洩対策にもなる。「今こそ好機」とノートPCをタブレット端末に置き換える企業が続出している。ユーザー動向をよく知るSierの話から市場の今をレポートする。

文 坪田弘樹 (本誌)

iPhone / iPadが法人へのスマートフォン / タブレット端末導入の先鞭を付け、さらに、相次ぎ登場するAndroid端末にも企業が注目している。

導入のトリガーとなっているのは、ノートPCからの置き換えだ。コンシューマ市場では携帯電話からスマートフォンへという流れが確実に進んでいるが、法人市場については、少なくとも現時点では大いに留保が付く。だが、ノートPCからタブレット端末への置き換えは、2011年度、一気に加速しそうだ。

情シスにとっても好機？

現在はちょうど2011年度予算編成の只中にある。「ノートPCからスマートフォンやタブレットに、端末の刷新を予定している上場企業が非常に多い。新年度は間違いなく大きく動く」。そう語るのは、住商情報システム・新規事業開発室クラウドビジネスチームリーダーの吉田柳太郎氏だ。

こうした動きの起点となっているのが、経営層をはじめとするエグゼクティブクラスだ。ノートPCの扱いが得意でないこの層が抱く課題

をいつでもキャッチできて、意思決定を迅速化できる方法はないものかにハマったのが、iPadである。

これが引き金となって、ドコモのタブレット端末GALAXY Tab、さらには携帯電話よりも画面が大きく使いやすいスマートフォンにも目が向けられることになった。

この便利な端末を使えるようにする。エグゼクティブから情報システム部門へと圧力がかかる。「これが今、多くの企業で起こっている現実だ」と吉田氏は話す。

こうした要求は、営業職を中心に現場レベルからも上がっている。情シス部門が上下からのリクエストに苦慮しているという声も方々から聞こえてくる。だが、ただ「困っている」ばかりでもない。これを好機と捉える向きも少なくないのだ。

「一石三鳥取りましょう」

「ノートPCからスマートフォン / タブレット端末への置き換えで『一石三鳥』取りましょう。この提案が効く」と吉田氏は話す。

多くの企業が、OSサポートの終了、ハードの老朽化により、Windows



住商情報システム・新規事業開発室クラウドビジネスチームリーダーの吉田柳太郎氏。「国産のスマートフォン、タブレットが登場する2011年度は、間違いなくアグレッシブな年になる」と確信している

XP搭載PCの刷新のタイミングを迎えている。ただし、PCは高い。安くても1台10万円、B5サイズのモバイルPCならば20万円はする。さらに、ソフトウェアの購入・更新も高額だ。

翻ってタブレット端末やスマートフォンは1台5万円程度で、アプリも安い。コスト削減ができそうだ。これが出発点になる。

もちろん、すべてを置き換えるというわけではない。ノートPCを支給していた社員にヒアリング調査を行うと、実際には大した作業は行っていない社員が多いという実態が浮き上がる。タブレットでも、場合によっては画面の小さいスマートフォンでも業務が可能な領域は決して少なくない。

次に検討されるのが安全面だ。企